

高東京矢高会 ニュース

初参加の

本田博さん第3位

第4回東京矢高会ゴルフコンペ（11月18日 川越グリーンクロスII 5376ヤード パー71）——晴天に恵まれ青空の下、参加者は過去最高の2組7名。クラブハウスから船で荒川を渡り、いよいよスタート。

肩の調子もよくなった初参加の本田博10期さん。数年ぶりのゴルフも、「昔とつたきねづか」。随所にナイスショットで第3位。優勝はベスグロ、「月イチゴルフの品格」の著者、神田恵介支部長（13期）。「ゴルフは生涯スポーツ」と、考え、打つて歩いて筋力維持。「長生きするにはゴルフに限る」と。2位は前回に続き八田一利さん（15期）天上出身。4位は後半45の好スコアでまとめた中村輝夫さん（4期）高原出身。5位は、今回が2度目の参加の服部豊さん（15期）。休日には家庭菜園とゴルフとか。前回優勝上尾市の酪農家高橋廣（旧姓高垣）さん（13期）天上出身は後半44の好スコアながら6位。7位は初めて百を切った三宅良一さん（35期）。

終了後は全員で懇親会。それぞれに商品が進呈されました。今回は3組以上での開催を願い、お開きとなりました。

日本の底力 絆

矢上高校卒業生会東京支部長

神田 恵介（13期 井原出身）

昨年の東日本大震災でまだ日本中が元気が出ないなか、春の高校野球が始まり開会式で被災地の石巻工業王将が「日本中に届けます。感動、勇気、そして笑顔」を、日本中を元気づけてくれる立派な選手宣誓を行いました。少し長い異例の選手宣誓でしたがよくやっただと思つたところです。私も中学の時、郡大会で急に選手宣誓をやれと言われ「スポーツ精神に則り正々堂々と闘うことを誓います」とごくありきたりの宣誓をしたことを思い出し、あのときもう少し言いたいことを言えばよかつたのかなと反省しましたが、あのときはそれが精一杯だつたように思います。

邑南町が最近よくテレビに出るようになりまし。TBSで「邑南町の花嫁募集



お見合い大作戦」として若い人たちが紹介され、町の宣伝では教育施設が充実した町として矢上高校も紹介されています。またNHKでは剣道部が竹刀を杵

に持ち替えて餅つきをやったという放映もありました。6月にはNHKのご自慢が邑南町で開催されることが決まつたようです。

私も先般、知人の東京新聞の

記者を連れて邑南町を訪れ役場の会議室で「ターン者」と語る邑南町の魅力」という対談を企画し、県から2人「ターン者」2人委、それに卒業生会会長の渡辺さんを引き込んで意見交換を行いました。夜は香木の森の香煙館でわいわいがやがや。翌日には記者を連れてハンザケ館や道の駅 断魚溪などを回りました。東京新聞でも島根のキャンペーンとして邑南町を2回取り上げて書いてくれています。

邑南町のことを新聞やテレビに出ると、我が故郷として気分のいいところです。これで矢上高校が甲子園にでも出てくれれば万々歳なのですが、皆さんも故郷に帰ったときに矢上高校にも立ち寄って激

発行日 平成24年4月1日
 号数 第6号
 発行 矢上高校卒業生会東京支部
 発行人 神田恵介 編集人 三宅良一
 事務局 千葉市若葉区若松町
 九〇二一七一一五〇三

励してあげていただきたいと思ひます。
 今年の東京支部の総会は5月19日(土)の予定です。皆様方に会えるのを楽しみにしております。

人生の歩み

石川義之(5期 日貫出身)

都会での生活も六十年過ぎ、喜寿を迎える年齢になり、自分の歩いた人生を振り返る良い機会を思い書いてみました。

生まれは邑南町日貫の街中で生まれ姉妹5人の四番目で男一人の中で育ちました。父は町の収入役を務めていましたが、昭和十二年九月、北支(中国)で戦死しました。私が四歳の時でした。それから母の苦労が始まり先祖伝来の土地、日貫川下での生活が始まりました。小さいながら田畑を耕し軍人恩給のみの生活でした。苦労した暮らしの中で忘れもしない中学時代の日貫川の洪水による氾濫。田圃が半分流されてしまいました。どうにか姉達の協力で矢上高校に入学して卒業しました。中学三年の時、戦後の栄養不足から貧血気味で田舎で治療もままならず、たまたま姉が東京の病院で看護婦をしていた関係で、東京お茶の水の病院で見て貰い良くなりました。その時見た東京の景色や華やかさが脳裏に刻まれ、長男で有りながら昭和二十八年高校を卒業と同時に母一人残し

東京へ、姉の紹介で深川の金属加工会社に入社し六年、そして日貫の縁者の所で不動産・温泉旅館・観光幹旋業・新宿での飲食店経営といろいろな職業をしてきましたが、結婚を機にこのままでは人生ダメになると思い、三十二歳の時知人の紹介で銀座の広告代理店に就職し総務畑で二十八年間、定年まで勤めた後、知人の運送会社で顧問として六十六歳まで勤務し家庭の事情(長女姉の病氣看病)のため矢上に帰り、姉も亡くなりそのまま矢上に住むつもりでしたが、家内が体調を悪くして、一人息子が年老いた両親を遠い島根に置くわけにもいかないと云われ、現在の市原の自宅で子供夫婦と孫と一緒に住み、ゴルフ・ボーリング・グラウンドゴルフなどを楽しみながら年金生活の日々を満喫しています。

ふり返つてみますと人生での岐路が高校入学(江津工業・高校卒業の時)、八戸川ダムにより川下が過疎地になり矢上新町に母が引越したとき、二十九歳の時一年間田舎に母の要請で帰り浜田市内で勤務しその時同級生の友達に誘われ原田商事の立ち上げに参加していたら等、もしも島根に就職していたらどのような人生の歩みに変わっていたか。都会に生活して悔いを残すとしたら母の死去に間に合わなかったことです。でも現在我が人生に悔いはなし。都会に住んでも死ぬまで島根県邑智郡邑南町が故郷です。

拙い一句 いい宿矢上盆地に霧の海

希望は人生の宝なり

佐々木チズ子(6期 矢上出身)

突然、矢高ニュースの寄稿依頼があり、最近の私は手紙などほとんど書く事がなく、携帯で終わらせていることに、いかに文章から遠のいているか思い知らされ困ってしまいました。ニュースを発行して下さっている方のご苦勞を思えば何とかお答えしたいと思ひ、私の人生の師である先生の詩を皆さんに紹介しようと思ひました。それは「希望は人生の宝なり」と云うすばらしい詩です。何があっても希望に生きぬくところに人生の価値が輝くと私たちに教えて下さっています。

耐え難い逆境にあつて人を支えるもの、それは希望です。この詩を読んで元氣になり勇氣が湧いてもらえればと思ひます。ご紹介しします

希望は人生の宝なり 常に希望をもてる人は幸いなり どんな財産を持ちどんな権勢をもち どんな名声をもとうとも 希望を見失つた人生は 早々に挫折していくに違いない 古来ローマの哲人キケロは言った「重要なのは金銭よりも希望だ。」

希望が潰えれば残りものも、いくら積み上げてみてもいずれ失うことになるだろう」希望の人を侮る傲慢はやが

て後悔の落伍者として落ちてしまふだろう。希望に輝くこの人生を台無しにしては絶対にならない。希望は人生を励ます宝石である。希望のある限り人間には行き詰まりがない。そこには常に勝利が待ち 喜びの笑顔が広がっている 私と妻の忘れ得ぬ友である 気高きアフリカの環境の母 マータイ博士は語つた「希望は花のようである


どんな状況においても誰が見てもいようがいまいが花は精一杯咲き誇る 人間もまた同じである」と 希望は努力と忍耐に咲く花である。希望は陰徳を積みゆく人の

ふるさとの暮らしとともに、 JA

島根おち農業組合

(本所)邑南町下田所277番地 電話83-1801 内線83-1373
 瑞穂支所 邑南町下田所277 電話83-1131 内線83-1806
 羽須美支所 邑南町阿須那79-1 電話88-0121 内線88-0122
 石見支所 邑南町矢上53 電話95-1221 内線95-0210

ICHIOKU



AI ICHIOKU
 TAKAFUMI
 YUTAKA UEDA

トーフステーキ 一億



東京都港区六本木4-4-5
 TEL (03)3405-9891
 一億★豊
 URL http://www.pinpoint.ne.jp

誇り高き陽報なのである。希望に生き抜く人には、堕落がない、惰性がない。悩める友に希望を贈りゆく。貢献の日々には成長がある。充実がある。工学がある。創造がある。連帯がある。「闇が深いほど、光が明るくなるように。苦しみが募るほど、強くなるのが、ほんとうの希望」とはスベインの作家セルバンテスの叫びであった。希望は何者にも負けない。不屈の旗である。人生は戦いだ。来る年また来る年をどのように強く明らかに生き抜くかである。

正義に徹する師弟は、試練の逆境を下に見て生命の究極の光を永遠に放ち行くに違いない。

ああ、希望！希望！希望！希望は人生の宝なり。新しき一年も、新しき一日も我らは元初の大要を胸に明るい希望に燃えて出発する。

いかに深き乱世の混迷も決然と打ち破つて、みずから希望を造りゆくのだ。

あの友にも、この友にも絶対勝利の希望を贈りながら我らは勝ち進むのだ。

君よ、貴方よ決して負けるな、いかなる艱難辛苦があろうとも金色に輝く希望の光を断して忘るるな。

おお君たちよ、私がかから信頼し愛する君たちよ、希望に生き抜くのだ。断固勝ち抜くのだ。

10期同期会 開催

10月25日新橋の居酒屋で10期の同期会が開催されました。当日は品南町の三宅正隆さんの上京に合わせ、横浜の日高一考さん、厚木市から三宅光治さん、埼玉くん dari から本田博さんが、中学校時代3年間三宅正隆先生に担任でお世話になったという縁で三宅良二(35期)もかけつけた。近況報告から、学生時代の四方山話に楽しい時間でした。



平成二十四年度

年会費のお願い

本支部の経費は、皆様方からの会費・寄付金で運営されております。二十三年度会費をお納め頂きました皆様、ありがとうございます。人勢の方に、協力頂きました。

一昨年より一口千円として何口でもお納め頂くことができるようになりました。各行事の時にも申し受けますが、払込用紙にて、お納め頂ければ幸いです。また、ゆうちょ銀行からの振込の場合は手数料がかかります。改めて、本年度の会費をお納め下さいますようお願いいたします。

会費一口千円 何口でも

口座番号 〇〇一四〇一〇
一七二二七七

金融機関からの振込用口座番号 ゆうちょ銀行 〇一九 (ゼロイチキユウ)店

当座 〇〇七二二七七
口座名 矢上高校卒業生会
東京支部

平成二十三年度

会費納入一芳名

- 十口二万円 神田恵介(13期)
- 五口五千元 中村輝夫(4期)大羽登(6期)八田一利(15期)高橋広(13期)
- 三口二千元 酒井富雄(22期)楠利文(5期)三宅光寛(21期)渡辺勤(11期)石川義之(5期)服部豊(15期)太田周枝(5期)服部俊之(15期)戸司恵美子(27期)
- 二口二千元 中野恭子(28期)安原暁(19期)山田裕三(39期)椿満男(8期)荒瀬淳(6期)本田博(10期)竹内一昭(瑞穂3期)渡辺誠(18期)宮田勝(14期)隅川和子(6期)中村延枝(6期)木村信恵(18期)
- 一口千円 日高文三(1期)小林千賀(13期)三宅伸二(29期)森岡武(14期)椿美津枝(13期)前田喜信(8期)沖征広(14期)沖美知江(18期)日野勇夫(瑞穂7期)日野山勉(10期)山本信子(13期)一谷邦男(9期)宮田勉(19期)江藤洋子(13期)狩野恵(13期)坂根節男(13期)八田志津江(21期)日野修治(17期)森脇清(17期)伊賀美穂(21期)天川千賀子(22期)上田律子(21期)斎藤均(19期)島村不二子(19期)濱田逸子(14期)枝久保美千恵(10期)植田豊(13期)三宅雅寛(23期)原野未来将(53期)敬称略

第37回総会

開催のご案内

最大のイベント、「支部総会」。本年度は5月19日(土曜日)に、会場は昨年同様、品川区五反田の「ゆうぼうと」で開催します。

はるばる邑南町から、卒業生会の渡辺生紀(4期)井原会長、三宅美明校長先生(24期)にご出席頂く予定です。

また今年、還暦、古稀、喜寿、傘寿を迎える方は、この年だけの出席も大歓迎ですので、ぜひ出席頂き、「元氣な顔を見せちゃんさい」。ささやかですが記念品をご用意しております。昨年は翌日の「日曜日と間違えんかった先輩」もおりんさるけえ。「間違えんこう来ちゃんさい。」何かとお忙しいかと存じますが、万障お繰り合わせの上お出かけ下さいますよう(案内申し上げます)。

日時 5月19日

土曜日 正午

場所 五反田

「ゆうぼうと」

6階 「菖蒲」

品川区西五反田 8-4-13

電話 〇三三三四九四一六四七三

会費 男性八、〇〇〇円

女性六、〇〇〇円

(当日会場にて申し受けます)

(準備の都合上、五月五日までに同封の返信用はがきにて、出欠をご連絡下さいますよう宜しくお願いします。)

矢上の方言

はあ、忘れんさつたらう。矢上弁、たまにやあ思い出しちゃんさいよ。

前号の問題「ことい」(オス牛)と「おなみ」(メス牛)難しかったかいのお。牛ゆう飼うとりんさりやあ、みやすかつたらうが。矢上も今しやあ牛ゆう飼うとりんさる家が無うなつたけえ。

- 正解者は、岩岡忠夫(15期)日野勇夫(瑞穂7期)日高文三(瑞穂1期)浦田庸子(6期)中岡庸修(15期)上田敏道(19期)品川幹雄(25期)日野山勉(10期)中村輝夫(4期)三宅伸二(29期)植原稔子(10期)倉持佳子(14期)竹内常年(瑞穂18期)三宅綾子(18期)八田一利(15期)八田志津江(21期)江藤洋子(13期)後藤勝子(6期)天川千賀子(22期)本田博(10期)伊東順子(23期)大羽登(6期)戸司恵

美子(27期)23名 順不同。

正解者全員に記念品をあげよう思っております。総会の時に進呈します。正解しんさつた方は必ず出席しちやんさい。楽しみにしとちやんさい。

さあ、今回の矢上弁の問題は「もとおらんこと」とはどんなことでしょうか。

よお思い出しんさりんかつたら、矢上におりんさる親戚やお友達に電話で聞きんさつたもええで。

編集後記

皆様いかがお過ごしでしょうか

記憶に残る年「平成23年」。あの3月11日から一年。一日も早い復旧・復興を心よりお祈りします。

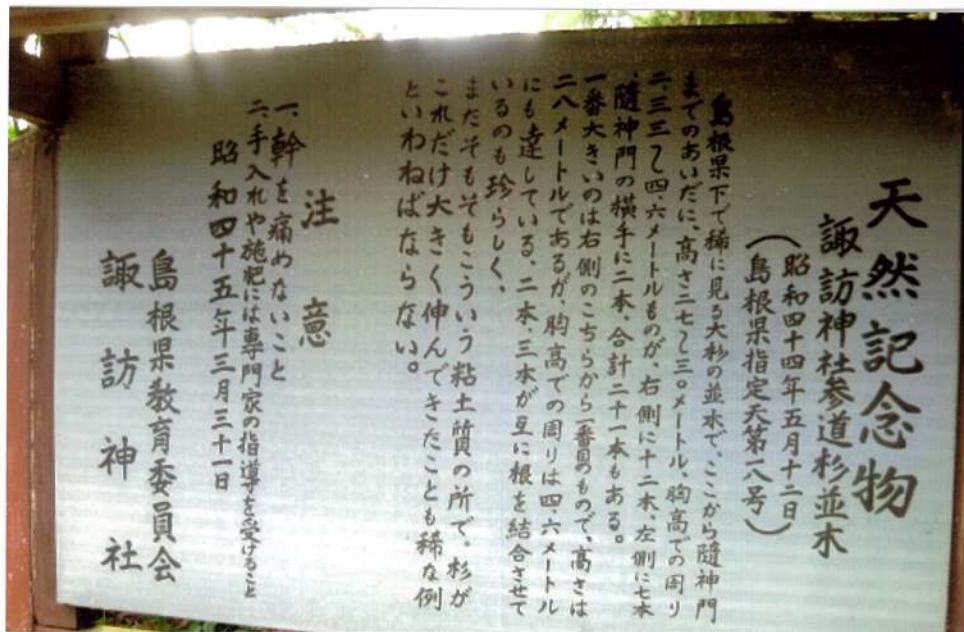
中村輝夫先輩がいつもお話される「父と母で二人。そのまた両親で四人。そのまた両親で八人。十代遡ると千二十四人。三十代ではなんと十億人を越すこと

に。ここにいるみんなは親戚だ」。私はこの話が好きです。お一人お一人が悔いのないといえるような「我が人生」になるように。みんながドラマ

の主人公で名脇役。健康で長生きして毎年総会でお会いできたらと思っております。今号も原稿を有難うございました。次回は9月の予定です。皆様から原稿をお待ちしております。十分注意しております。まが誤字脱字や、見ずらいところもあろうかと思えます。どうぞお許し下さい。お気づきの点がありましたら何なりと申し付け下さい。いよいよ春到来。5月の総会、元氣にお会いできますよう、どうぞご自愛下さい。

三宅 良一

(35期 矢上出身)



天然記念物

諏訪神社参道杉並木
(昭和四十四年五月十二日)
(島根県指定天然第八号)

島根県下で稀に見る大杉の並木で、ここから随神門までのあいだに、高さ二七・三メートル、胸高での周リ二・三・四・六メートルものが、右側に十二本、左側に七本、随神門の横手に二本、合計二十一本もある。一番大きいのは右側のこちうから番房のもので、高さは二・八メートルであるが、胸高での周りは四・六メートルにも達している。二本、三本が互に根を結合させているのも珍らしく、またそれもこちういう粘土質の所で、杉がこれだけ大きく伸びてきたことも稀な例といわねばならない。

注意

一、幹を痛めないこと
二、手入れや施肥には専門家の指導を受けると
昭和四十五年三月三十一日

島根県教育委員会
諏訪神社